



飯坂ロータリークラブ 週報

創立 昭和33年(1958)5月5日
 ガバナー 石黒秀司
 ガバナー補佐 佐久間弘行
 会長 菅野浩司
 幹事 斎藤孝裕

1. 例会最重点主義で、例会出席者の純増・出席率を高める。
2. 会員増強目標
3. 福島職業宣言文化
4. 青少年ショート交換事業実施への研究
5. 横断的な委員会ジョイントでの活動強化
6. ロータリー賞への挑戦
7. ロータリー財団への理解と活用
8. 米山記念奨学会への協力

3月は水と衛生月間

2020 - 2021 年度 ◆ 例会日/木曜日 12:30 ◆ 例会場/かむろみの郷 穴原温泉 匠のこころ 吉川屋

RI会長 ホルガー・クナーク 事務局/〒960-0211 福島市飯坂町湯野字新湯6 (吉川屋内) ☎(024)542-2226 FAX(024)543-1433

ヘルツォークトゥム・ラウエンブルグ・メルンRC (ドイツ)

通算

世界ローターアクト週間(3月13日を含む1週間)

言行はこれに照らしてから
「四つのテスト」

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

第24回 [3032] 例会報告 令和3年(2021) 3月11日(木)

出席委員会報告

| | |
|------|--------|
| 会員総数 | 39名 |
| 出席会員 | 27名 |
| 欠席会員 | 12名 |
| 出席率 | 69.23% |

◆開会点鐘 菅野浩司 会長

◆ロータリーソング [我等の生業想]

◆四つのテスト 西山友幸 職業奉仕委員長

【3月の奥様お誕生日】…♪♪♪ おめでとうございます ♪♪♪
 3月9日 中野純子様(哲郎会員)

.....lunch time.....

◆会長の時間



本日も例会出席、誠にありがとうございます。まずは訃報をお伝えしなければなりません。元会員で第44代会長を務められました村田安啓さんが、昨日ご逝去されました。ここに謹んで村田安啓元会員のご冥福をお祈り申し上げます。

本日、3月11日は東日本大震災から丁度10年目となる節目の日です。10年前のあの日を思い出して、少しお話をしたいと思います。当時はまだロータリアンではありませんでしたが、私は福島信用金庫平野支店さんにおり、そこで突然大きな揺れに襲われ、立ってられない状態でしたので、その場でしゃがんでおりました。非常ベルが鳴り、大きなガラスの壁が割れると思うぐらいの地震でした。飯坂の自宅が心配でしたので、すぐ向

かうと家族は無事で、大きな被害もなく一安心しました。地震発生後、事務所にも電話しておりましたが、全然つながらず、当時、太平寺にあった事務所へ向かいました。信号は止まり、あちらこちらで渋滞が発生しており、事務所まで3時間以上もかかってしまいました。事務所に戻るとメモがあり、職員は無事で、地震後すぐに自宅に帰ったようでしたので安心しました。翌日、事務所で片付けをしている最中、ラジオで福島第一原子力発電所の爆発事故を聞いて、大きなショックを受けたことを覚えております。チェルノブイリ原発事故が頭に浮かんで、被曝するのではないかと、もう福島に住めないのではという不安に襲われたことを、今でもはっきりと覚えております。本当に、原発事故では福島の方は大変なご苦労されたと思います。あの事故を聞いた時は、この世の終わりを覚悟した当時ではありますが、まさか10年後の今、ロータリアンとなって、会長を務めているとは夢にも思いませんでした。これから10年先も明るい未来になることを願ひまして、本日の会長の時間とさせていただきます。



奨学金の贈呈

【米山記念奨学生 李岳さん】 現在は、大学院の入学と各免除申請の準備をしています。先日の地震によって、私のバイト先が壊れまして、営業できない状態になり、私も今休んでおります。昨年はやりたいことがいっぱいありましたが、コロナのためにほとんどやれなかったです。幸い、私は福島にあと2年おりますので、もし私に何か手伝えることがあれば、声をかけていただいて、手伝わせてください。最後になりますが、お世話になりました。ありがとうございました

◆幹事報告 斎藤孝裕 幹事

A. 来 信

①ガバナー 石黒秀司 氏より

「Zoom 会長・幹事会議開催について」

「オンライン地区大会」

「地区大会特別セミナー」 Zoom YouTube

と き 3月11日(木) 18:30~19:30

と き 4月 4日(日) 13:00~14:51

と き 4月11日(日) 13:00~15:30

B. メーキャップ報告

1/23、2/28

1/30

2/4

2/21、2/28

3/7

地区行事

米山記念奨学生修了を祝って

飯坂小学校太鼓クラブ

地区ガバナー予定者会議

地区誌会議

佐藤真也 会員

佐藤喜市郎 会員

菅野浩司、斎藤孝裕、佐藤喜市郎 各会員

安齋忠作 会員

佐藤喜市郎 会員

◆スマイリングBOX 秋葉一彦 委員 【合計54s】

堀切 孝敬会員 5s

晶 隆章会員 5s

服部 裕一会員 5s

村田安啓さんの冥福を祈り。長期欠席おわび

3/14朝8:40頃 福島テレビ「日曜報道 THE プライム」に吉川屋が出ますので良かったらご覧下さい。

本日は私達の結婚記念日です。10年前に中華「シーリン」にて食事会を予約しましたが、東日本大震災でそれどころではなかったです。二度とこの様なことがないようスマイリング致します。又、東邦の新支店長の渡辺様の入会を祝って もうひとつ、本日の民報の松崎会員のスピーチ楽しみにしています。

吾妻 一夫会員 5s

鈴木 牧子会員 5s

松崎さんのスピーチ楽しみにしています。

松崎義将会員のスピーチ楽しみにしています。

| | | | | | |
|-------|-----|---|-------|-----|-------------|
| 菅野 浩司 | 3 s | 松崎会員のスピーチ楽しみにしております。本日は宜しくお願ひします。 | | | |
| 斎藤 孝裕 | 3 s | 松崎さん、スピーチありがとうございます。ガク君、ようこそ… | | | |
| 千葉 政行 | 3 s | ・松崎支社長スピーチ楽しみに来ました。会長やるまで飯坂にいて下さい！・あれから10年頑張ってください。 | | | |
| 石川 邦俊 | 3 s | 松崎会員のスピーチ楽しみにしております。 | | | |
| 村上 裕司 | 3 s | 松崎会員のスピーチ宜しくお願ひします。 | 安齋 忠作 | 3 s | 遅参おわび 早退おわび |
| 生田 正志 | 3 s | 松崎さんのスピーチ楽しみにしております。 | 中島 定宏 | 2 s | 欠席おわび |
| 紺野 容樹 | 3 s | 松崎会員のスピーチ楽しみにしております。 | 西山 友幸 | 2 s | 早退おわび！！ |
| 松崎 義将 | 1 s | 本日は、会員スピーチの機会をいただき、ありがとうございます。 | | | |

◆会員スピーチ

松崎義将 会員



先ほどのスマイリングボックスでは、皆さまから多大なるプレッシャーをいただきまして、誠にありがとうございます。本日は、東日本大震災と原発事故から丸10年の節目の日に、このような会員スピーチを行う機会をいただき、ありがとうございました。

私が飯坂支局に着任し、4月から4年目に入ります。本日は、改めて自分の自己紹介をさせていただき、その後、会社の紹介と復興に関してのお話をさせていただきたいと思ひます。出身は福島市豊田町で、父は建築士、母は保育士の家庭で4人兄妹の長男として、1990年(平成2年)1月11日に生まれ、現在31歳です。附属小、附属中、学法福島高校、宮城県の東北学院大学を卒業して、2013年(平成25年)に福島民報社に入社し、現在8年目です。小学生からサッカーを始め、以来、高校までサッカーを続けておりました。大学3年生の終わりに東日本大震災が起きました。当日は友人の誕生日パーティーをする予定で出掛ける準備をしていたところ、今までに体験したことのない揺れで本当に驚きました。しばらく大学も休校となり、5月か6月ごろにやっと大学も始まり、少し短めの4年生を過ごしました。就職に関しては、元々福島に戻ってこようという思いもあり、ありがたいことに、某自動車メーカーさんや某建設新聞社さんから内定をいただきましたが、親の勧めもあり、福島民報社に入社する運びとなりました。入社当時は、広告局の営業部という、新聞広告をいただく仕事をメインとした部署に配属となり、本社で2年勤務し、郡山本社に転勤しました。営業部で3年間勤務した後、現在の飯坂支局にまいりました。飯坂支局は私一人ですが、基本的には取材をメインにやらせていただきながら、広告をいただき、仕事をさせていただいております。

ここからは少し会社の紹介をさせていただきたいと思ひます。福島民報社は1892年(明治25年)8月創業し、来年130年を迎えます。社員数は310人。主な事業内容は、取材などを通して得た情報を紙面化し、新聞として発行しております。発行部数は約25万部です。各地に支社、支局があり、東京、大阪、仙台にも支社があります。県内では郡山、いわき、会津若松などの主要都市9カ所にあり、私がいる飯坂支局も含め支局は15カ所あります。弊社の業務を大きく分けると、取材や記事を作る「編集部」、新聞広告や事業を行う「営業部門」、新聞を印刷する「印刷部門」に分けられます。どれが欠けても新聞を作ることは難しくなります。また、我々が作った新聞は、新聞販売店の皆さまのご協力があるからこそ、読者の方々の元へ届きます。震災の翌日3月12日も発行しておりますが、今までにない見開き4ページという異例の形でした。震災当時も新聞は休むことなく発行させていただいております。社員もそうですが、皆さまの元に届けていただく新聞販売員さんのご協力もあったからだと思います。皆さまのご協力を得ながら、新聞を毎日お届けできていることを改めて感じております。読者の方へ情報をお届けできたのも、販売店の方々のご尽力のおかげだと思っております。

ここからは新聞の小ネタみたいなものを少しご紹介できればと思ひます。新聞紙面ですが、各地域、発行する場所によって内容が変わってきます。県北地区だと福島県北地方版と呼ばれるページがありますが、これが各地方によって6つあります。この地方版では、地元のニュースを多く扱っていただき、それをメインにご紹介させていただいております。新聞を印刷する印刷センターを二本松市に新たに造りました。トイレットペーパー状の紙に印刷し、この1本の長さは約20kmにもなります。新聞の下に点々があるのを皆さんご存知ですか。カラー紙面の時に黒、青、赤、黄色の順で印刷するのですが、その用紙が1秒間に約10mの速さで、印刷機を大きな紙が通るので、ハイスピードカメラで目印の点々を見て、印刷のズレを防ぐためにこの点々があります。また、新聞の上下がギザギザなのは、特殊なカッターの機械で新聞紙を切るからなのです。当社では「民報出前塾」という、各企業さんや事業者さん向けに従業員研修として、記者を派遣させていただいております。新聞の利活用や新入社員さん従業員さんの研修などに使っていただく機会になるよう、新聞をご活用いただければとやらせていただいております。もし興味があれば、ご相談いただきたいと思います。

この福島県を見る限り、復興していない部分もありますが、皆さまのご努力という、そんな言葉では言い表せない大変なご苦労があって、今日に至ると思ひます。なかなか10年経っても変えられない場所があるという事実は事実ですが、着々と復興に関しては進んでいると思ひます。こういった節目になると、どうしても全国ニュースなどで福島が取り上げられ、当時の映像が流れますし、今の現状ではなく、当時の事の方がよく報じられているように感じます。そこで懸念されるのは、まだ福島は危ないのではないかと、原発の影響があるのではないかと、思われてしまうことによる風評被害が、また出てきてしまう可能性があると思ひます。そういった風評を無くすためにも、福島は今元気にやっているのだと、今後も我々地元メディアが発信していきたいと思ひます。ご清聴ありがとうございました。

◆閉会点鐘 会長



飯坂小学校太鼓クラブへ寄付
(第11回 累計550,000円)

■第9回理事会開催 3月11日(木) 13:30~「吉川屋」

- 《内 容》①オンライン地区大会について ②地区大会特別セミナーについて
③4月22日、25日の例会について ④4月の例会プログラム ⑤その他
《出席者》菅野浩司、斎藤孝裕、村上裕司、生田正志、千葉政行、服部裕一、石川邦俊、紺野容樹、佐藤喜市郎、佐藤真也、吾妻一夫 以上の会員